

学べば学ぶほど解らないことが増えていく

だから面白くて…と言った生徒がいました。

そんな学び、そんな授業、そんな学校でありたいと思います。

小林 学問が好きになるということは、たいへんなことだと思うけれども。

岡 人は極端になにかをやれば、必ず好きになるという性質をもっています。好きにならぬのがむしろ不思議です。好きでやるのじゃない、ただ試験目当てに勉強するような仕方は、人本来の道じゃないから、むしろそのほうがむずかしい。

小林 好きになることがむずかしいというのは、それはむずかしいことが好きにならなきゃいかんということでしょう。たとえば野球の選手がだんだんむずかしい球が打てる。やさしい球を打ったってつまらないですよ。ピッチャーもむずかしい球をほうるのですからね。つまりやさしいことはつまらぬ、むずかしいことが面白いということが、だれにでもあります。選手には、勝つことが面白いだろうが、それもまず、野球全体が面白くなっているからでしょう。その意味で、野球選手はみな学問をしているのですよ。ところが学校というものは、むずかしいことが面白いという教育をしないのですな。（「人間の建設」小林 秀雄・岡 潔 より抜粋）

安房高等学校は百年を超える歴史を有する古い学校です。その歴史の中で脈々と受け継がれてきたもの、失われなかったものを大切にしていきたいと思っています。

受験にのみ役立つものを伝える術を安房高校は求めようとは思いません。

安房高校は、安房高校としての「進学指導重点校」としての在り方を真摯に求め続けて行きます。

【安房高校の取組】

◎「行ける大学」ではなく「行きたい大学」

千葉県教育委員会から、平成19年に進学指導重点校の指定を受け、単位制の導入、1日7限授業の展開、1年次30人クラス編成などを進めてきました。

またICTを活用し、非常時の自宅学習にも対応できるシステムやWi-Fi環境を整えた学習室の整備など、「自ら学ぶ」姿勢を支える環境づくりを推進しています。

◎質実剛健・文武両道

礼を重んじ、他者への尊重を始めに置く…誰よりも深く静かに頭を垂れる「5秒礼」から安房高校の式典は開始されます。その基盤の上に、文武両道の実現を目指します。

剣道部の全国3冠、野球部の甲子園出場、生物部、化学部等の全国レベルでの活躍などなど…後に続け安房高生！

◎教員基礎コースでの学び

本校は千葉県で最初の「教員基礎コース」が設置された学校の一つです。その背景には、卒業生の多くが県内外の学校で教師として活躍している実績があります。放課後や週休日を活用し、千葉大学や敬愛大学等の先生方に講義をお願いしたり、地域の小中学校等の協力のもと体験実習をさせていただいたりしています。…そんな取組の中で、将来目指す教員としての「基礎」…つまりは「心構え(学び続ける姿勢や子どもに対する責任感)」を養うことを目指しています。

安房高校は公立高校です。施設・設備には古いものもたくさんあります。通学用のバスはありません。特待生制度もありません。…その中でも志を持って学ぼうとする若者が集う学校であり続けたいと思っています。

令和2年

安房高等学校長 石井 浩己